

第1分科会 発表者

東京都立八王子東高等学校前PTA会長

ひ の で み ち こ
日野出 美智子 氏



八王子東高校応援団

ー 子ども・教師・保護者で繋ぐ信頼のトライアングル ー

■ 教師と生徒が共に作り上げてきた学校

本校は、東京都心から西方へ約35km、八王子市と日野市の境に位置する高倉町の一角に昭和51年に開校いたしました。今年で創立33年とまだまだ伝統浅き高校です。周辺には首都大学東京や公立小中学校が集まり、平坦で区画整理された街並みと共に、落ち着いた環境にあります。一方で敷地は狭くグラウンドも変則的と、施設面では都立高校の中でもけっして恵まれているとはいえません。

しかしそれを補って余りある関係者の情熱と努力によって、東京都の「進学指導重点校」に指定され、都立高校の中では、トップクラスの進学実績を誇り、他県からも毎年、多数の学校関係者が視察に訪れています。

開校時よりの先生と生徒と一緒に学校を作り上げていくという姿勢と、「文武両道」の精神は今も変わらずに受け継がれております。部活動はもとより、「しらかし祭」「体育祭」「合唱祭」などの行事も非常に盛んで、生徒が自主的に運営して先生方が陰で支えるという方針が徹底されています。一方で夏休み、冬休みの講習数は昨年度84を数え、部活動に影響の無いようにとの配慮から行なわ

れる朝補習も年々その講座数が増えてきています。

自習室がない為に踊り場の一角に机を並べて、自分の自習スペースを確保したり、駐車場の空きスペースで部活動をするような施設環境の中でも、忙しい高校生活を十二分に満喫して、尚且つ自分の夢の実現のために努力する生徒たち。そして、その生徒たちの夢の実現のために自らにも厳しいスケジュールを課される先生方の熱意のもとに「うちの子たちはやるときはやりますから」という信頼感で繋がった生徒と先生の良い関係が八王子東高校の学校生活全ての基本になっております。

■ 学校とPTAの望ましい連携を模索して

生徒と先生が信頼の絆で繋がっていると同時に、学校と保護者も信頼の絆で繋がることが、望ましいPTAのあり方であると私たちは考えます。

お互いがお互いを信頼するためには、何が必要であるかと考えた結果、普段学校が何をしているのか、子どもたちがどのような学校生活を送っているのか、PTAがどのような活動をしているのかを、見たり知ったりする

機会を増やすことが互いの相互理解、信頼の第一歩になるとの思いから、それまでのPTA活動を再評価するとともに新しい情報発信ツールと方法を模索いたしました。

(1) 一斉配信メールの導入

まず、もっとタイムリーに手軽に情報発信ができないかを検討し、昨年度、電子メールによる一斉配信システムを導入いたしました。これにより、PTAと学校から適宜タイムリーな情報を保護者と生徒に提供できるようになりました。

たとえば学校からは「明日は保護者会です。お待ちしております。」といった招待メールのほか、学校行事や緊急時の連絡などが配信されます。またPTAからはクラス親睦会や講演会への参加呼びかけ、手紙や広報誌の配布通知などを配信しています。

利用システムは配信先を1学年保護者宛、1学年生徒宛のように区別して指定できるため、よりきめ細かい情報が流しやすくなっています。

コストや事務負担の面から、民間の配信サービスを活用していますが、運用ルールを明確にし、目的・受信権限・管理者・禁止事項・個人情報保護指針などの規定を作成し、安全な運用を実現しております。

これと同時に、多くの会員に配信メールを利用して頂けるよう、アドレス登録を積極的に呼びかけ、現在、登録率は約85%に達しております。

一斉配信メールは、PTA活動や学校生活の利便性を高め、親子間のコミュニケーション向上に一役買うツールだと実感しています。

(2) ホームページの充実

関心はあっても仕事の都合などで、なかなか活動に参加できない会員や、広く一般の方に八王子東高校とPTA活動を知って頂くた

めに、従来から開設されていたホームページの見直しを行い、更新回数を増やすとともに見て楽しいホームページになるよう、ページの刷新に取り組みました。

改善に向けて、まず各委員会選出の委員からなるホームページ委員会で、レイアウトや掲載内容について検討を重ね、各委員会から掲載記事の提供を募りました。その結果、「入学式」「しらかし祭」などの行事はもちろん、普段保護者が目にすることの出来ない合宿の様子や、PTA懇親会、各種委員会の活動予定や報告、アンケート結果などが随時、活発に更新されるようになりました。また、ホームページから直接、行事参加の申込用紙を印刷できる利便性も備え、来訪者が増えました。

ホームページについても「著作物作成規定」を整備し、それに則って個人情報保護に配慮したページ作りがされています。また、更新作業は会員の中からお願いした管理人に管理料を払って委託しております。

(3) 広報誌「^{しらかし}志遡加之」による情報の共有

広報委員会は、委員70余名という大所帯で父親の参加が多いのも特徴です。年3回発



しらかし祭と子どもたち



熱血☆東応援団懇親会
「先生方の創作劇」



広報委員会「編集会議」

行されるPTA広報誌「志邇伽之」は、全頁カラー印刷、読んで楽しく、見て楽しく、これを読めば八王子東高校の生活すべてがわかると言われる紙面作りをめざしています。

会員向けとしてだけでなく、学校説明会などでも配付され、中学生やその保護者にも好評ですが、何よりも生徒自身が宝物のように繰り返し読んでくれていることが自慢です。

「志邇伽之」は都高Pの広報誌コンクールに毎年入選し、最高賞の「東京都教育委員会賞」も度々受賞しております。昨年の全高P連埼玉大会でも、メイン会場に展示されました。広報誌も「著作物作成規定」に則り、個人情報に配慮した制作がなされております。

(4) 信頼関係 ― 親睦会等の意図するもの

もうひとつ注目したものに親睦会があります。教師と保護者、また保護者同士が信頼関係を築く上で、気軽に話をし、体験を共有することが第一歩であるとの思いから、年度の早い時期に学年の委員全員と担任の先生方との親睦会を実施します。各クラスの委員から担任へのお誘いと学年主任からの呼びかけで、担任は全員出席です。おいしい料理とざっくばらんに話が出来る環境、何より「先生方の話の面白さ」で場が盛り上がり、それが次に、クラス単位の親睦会の開催へとつながります。昨年度は全クラスが1回以上の親睦会を企画し、担任と保護者の間の距離を縮め、保護者同士の親睦にも寄与しました。

子どもたちにとっての最大行事「しらかし祭」の後には、その感動をエネルギーにして、全先生方と全委員対象の「熱血東応援団懇親会」が企画されます。19年度は、先生24名、委員72名の計96名の出席を得て、それぞれに工夫を凝らした出し物の企画に会場が盛り上がりました。

また、文化委員会では、春と秋に研修旅行と観劇会を企画し、会員同士の親睦と教養を

高めることに努力しています。毎回参加希望者が多くて抽選になるほど盛況です。

こうした関係作りを積み重ねることで、「うちの先生すごい」「うちの保護者もやるな」と、お互いを認め合う気持ちが生まれ、子どもと先生との間にある＜信頼関係＞が保護者と先生との間にも芽生え、八王子東高校を中心とした「信頼のネットワーク」が構築されていくのだと思います。

■ 八王子東高校応援団

学校を取り巻く環境だけでなく、保護者の意識も急速に変わってきているといわれる中で、PTA活動も従来の枠に捉われていては、一般会員から遊離した役員や委員のためだけの活動に陥る危険性があると思われます。

学校はより忙しくなり、保護者だけでなく先生方もPTAの活動に関わる時間を確保することが難しくなってきました。そうした現状を踏まえた上で、子どもを頂点とした、保護者と学校とのトライアングルの関係をより強固なものとする為に、私たちに何が出来なのか、どうしたら一般会員と先生方を巻き込んだ活動が出来なのか、協力関係と信頼関係を築くための知恵と工夫がPTAに求められております。

PTAの構成員は毎年変わります。その中で、脈々と繋いでいくのは、「八王子東高校応援団」であるという熱き思い。ただ、その表現方法は、その年集まった委員たちが、今年流、自分たち流に変えることで、熱き想いを引き継いでいくことが出来るのだと思います。変わらないために、変え続けていく勇気を持って欲しいと思います。

保護者と先生方との信頼のネットワークは、先生を育て、保護者を育てる大きな力となることを最後に付け加えさせていただきます。